

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		下水道事業会計〔消費税申告・納付事務〕									
予算科目	款	1	下水道事業費用	項	3	特別損失	目	3	その他特別損失	事業番号	
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)									
		☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの									
担当部署・課長名		下水道 課 庶務 係				課長名		廣瀬 裕			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		4 - 1	
【施策名】 市街地の整備								総合計画書 (ページ)		83	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	消費税					予算額					
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
正確に申告し、かつ滞りなく納付する。					納付額						
→											
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
①中間申告及び納付 ②確定申告及び納付					①中間申告・納付回数 ②確定申告・納付回数						
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	円	81,281,000	81,350,000	56,134,000					
	成果指標	②の数値	円	67,971,200	79,222,300	44,587,700					
	目 標	②の目標値									
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)											
活動指標		③の数値	①件 ②回	① 1 1 件 ② 1 回	① 1 1 件 ② 1 回	① 5 件 ② 1 回					
3 経費	事業費(実績)		円	67,971,200	79,222,300	44,587,700	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円								
		特定財源	円	67,971,200	79,222,300	44,587,700					
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000					
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	68,795,600	80,053,300	45,425,700						
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く										
	平成元年から下水道使用料にかかる消費税の納付をしている。										
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く										
	税率が3%→5%→8%→10%と改定されている。										